

1日目(9月6日) セッション概要-III

FC-1 カンボジアの子ども達の笑顔のために 13:10 カンブリア宮殿、NHKで話題の社会起業家が語る

特定非営利活動法人かものはしプロジェクト
理事長 村田 早耶香

【セッション概要】

児童買春の問題を解決するために10年間活動してきた。リーダーシップをうまく取れずに悩み、壁に何度もぶち当たった時期もあったが、その中でリーダーシップのとり方は一つではないことに気がつく。自分は誰よりも強い思いを持っている、それが自分の代表としての資質であり、自分に足りない部分はそれを持っている人の力を借りればよいのである。

模索しながらも自分なりのリーダーシップを確立させ、売られる子どもの問題のために取り組んでいる活動内容を紹介する。

【講演者略歴】子どもたちが無理やり体を売られている問題があるという現実を19歳で知り、この問題を解決するために立ち上がった。2001年には世界会議で日本の若者代表として参加し、2002年に仲間と共に、かものはしプロジェクトを創業。今年で10周年を迎える。

FC-2 日本の未来とグローバル人材育成：大学の挑戦 14:15 立命館アジア太平洋大学創設の挑戦

立命館大学名誉教授
立命館アジア太平洋大学初代学長 坂本 和一

【セッション概要】

今日、わが国では社会と企業のグローバル化を担う人材の育成が緊急課題であり、外国から未だ「鎖国状態」といわれる日本の大学の改革が急務である。このためには、入学時期の変更などではなく、なによりも「日本語の壁」を打破することが必要である。

この講演は、わが国で最初に日本語・英語2本立ての教育システムを採用し、留学生を学生の半数として、2000年4月に開設された立命館アジア太平洋大学(APU)の経験を通して、本格的なグローバル人材育成の挑戦を紹介する。

【講演者略歴】1939年生まれ。68年京都大学大学院経済学研究科博士課程単位取得後、立命館大学経済学部にて、78年より教授。94~04年立命館副総長。2000~03年の間、立命館アジア太平洋大学初代学長。現在、立命館大学および立命館アジア太平洋大学名誉教授。

FC-3 横浜市が進める公民連携による海外都市技術協力事業(Y-PORT) 15:35 公民それぞれが持つ強みと戦略的アプローチによる統合

横浜市共創推進室
共創推進担当課長 橋本 徹

【セッション概要】


横浜市には、150年にわたる急速な都市発展の中で、震災、戦災、戦後の都市拡大、人口増大、公害問題などを、市民、企業との協力のもと、独自の解決策を創出し、乗り越えてきた歴史がある。

それらの知見を、公民連携の枠組みの中で、イノベーションの源泉とし、都市拡大が大きな政策的な課題となっている新興国に提供しようとする事業を開始した。

本講演では、Y-PORT事業の背景にあるイノベーションの思想と、戦略的なプログラムアプローチを取り上げる。

【講演者略歴】東京大学工学部卒業後、アジア工科大学、マサチューセッツ工科大学(MIT)などで、都市計画の研究を行う。1994年からは、世界銀行にて、都市インフラの専門官として、東南アジアをフィールドとして活動。2008年に横浜市に入庁、Y-PORT事業の立ち上げから関わる。

FC-4 P2Mから見る持続可能な「環境未来都市」の提案 16:40 「社会」「経済」「環境」による「日本型まちづくり」のマネジメント

日本工業大学大学院
客員教授 太田 鋼治 

【セッション概要】

「環境未来都市」構想は、2010年6月に「新成長戦略」の国家戦略プロジェクトとして、「環境・超高齢化対応等の課題に対応し、人間中心の新たな価値を創造する都市」の実現に向けた取り組みを通じ、世界に類のない成功事例を創出し、都市・地域の活性化と持続可能な経済社会の実現するものとして注目されている。本件は「環境未来都市」構想から、このプロジェクト戦略について説明するとともに、P2Mの観点から、日本の技術と融合した全体最適性のある「未来都市」を提案する。

【講演者略歴】芝浦工業大学大学院卒/ロンドン大学院卒。大手建設会社にて国内外の建設を担当した後、現在JICAにて「国際建設工事/契約」を担当し、日本工業大学大学院(MOT)にて「建設系マネジメント」を指導する。一級建築士、一級建築施工管理技士、博士(工学)、建築/工学修士。

未来創造トラック



展示コーナー

出展企業名	出展概要
IFSジャパン株式会社	EPC業界はじめプロジェクト型業務向けのグローバル製品を実例を交えてご紹介します。
ITエンジニアリング株式会社	「PRIMAVERA」を中心としたEPMシステム構築の実例・機能等をご紹介します。
プラネット株式会社	プロジェクトマネジメント分野のリーダーとして、組織・個人のお客様に「PM標準10のステップ」「PMP®受験対策コース」「アドバンスコース」などの高品質セミナーをご紹介します。
アイシンク株式会社	PM研修・PM力診断・個人向け公開講座など、プロジェクトを成功に導く効果的なサービスのご紹介。
日揮情報システム株式会社	IT企業、エンジニアリング企業向けのプロジェクトマネジメントサービス・事例のご紹介。
日本プロジェクトマネジメント協会	PMAJが実施する講座、セミナー、出版物等のご案内および部会、SIG、研究会等の活動のご紹介とご参加案内。



参加者交流の場

このコーナーでは、参加者に「共有」の場を提供することにより、新しい考えや気づきを生み出すきっかけを作ることを目的としています。どうぞ積極的にご参加ください。

参加方法は、4つあります。

その1 コメントを書いた付箋紙を貼る

テーマごとに模造紙を貼り付けたボードを用意しています。付箋紙にご自身の意見や感想を自由に書いて貼り付けてください。他の人が貼り付けている意見に対する感想も歓迎です。

その2 Twitterでつぶやく (ハッシュタグ #pm_cafe)

付箋紙の代わりにつぶやいても構いません。スタッフが良いと思った意見は付箋紙に書いて貼り付けます。また、反対に付箋紙に書かれた内容をつぶやいても良いでしょう。

その3 話し合う

模造紙の前でテーマに関する会話を行います。立ったままで気軽に参加してください。

その4 眺める、聴く

意見を書いたり、対話するのが苦手という方はボードに貼ってある意見を眺めたり、ボードの前で行われている対話を聴くだけでも構いません。



ドリンクコーナー